

「留学生 チュアスイリン」

監督：土本典昭

1965年、51分、撮影：瀬川順一他、音楽：三木稔

英領マラヤの国費留学生として来日したチュア・スイ・リン。母国の未来を憂い、抗議行動を起こしたことで国費留学生の身分を取り消されてしまう。復学を求める留学生チュアを支援する学生たちの姿を追う。土本監督は当初テレビ番組として企画したが、反マレーシア的という理由で中止となり、自主製作としての作品となった。



トーク：一之瀬正史 映画カメラマン

1977年『わが街わが青春・石川さゆり水俣熱唱』（監督：土本典昭）でデビュー。『ナージャの村』にて日本映画撮影監督協会JSC賞受賞。芸術性の高いカメラワークには定評がある。主な作品は『アレクセイと泉』『ナミイと唄えば』『バオバブの記憶』、2015年公開『アラヤシキの住人たち』他。

ドキュメンタリー作家の原点を追う

「戦ふ兵隊」

監督：亀井文夫



1939年、65分、撮影：三木茂、瀬川順一、音楽：古関裕而

戦闘シーンは少なく、戦い疲れた日本の兵隊と、残された中国民衆たちの悲惨さを冷静に描写したこの作品は、軍の怒りを買ひ、公開禁止。さらに亀井監督は戦争に批判的な映画人として投獄。戦後はGHQの検閲により上映許可が下りず、長らく幻の映画とされていたが、1975年に1本のポジフィルムが発見される。

トーク：青池憲司 映画監督

1971年成田空港反対闘争の地で行われたコンサート「三里塚幻野祭」を撮影した『日本幻野祭 三里塚』を発表。阪神大震災後の復興の様子を記録した『記憶のための連作 野田北部・鷹取の人びと』にて日本建築学会文化賞受賞。2012年からは石巻・門脇小をテーマにした『津波のあとの時間割』を製作。現在も撮影を続けている。

6月7日(火)

「留学生チュアスイリン」10:30~上映、11:30~ 一之瀬正史トーク

「戦ふ兵隊」12:30~上映、13:40~ 青池憲司トーク

会場：仙台市市民活動サポートセンター 仙台市青葉区一番町4-1-3

入場料：前売 1,000円 当日 1,300円 映画村会員 800円

前売券は桜井薬局セントラルホールで販売